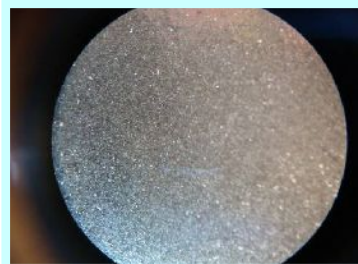


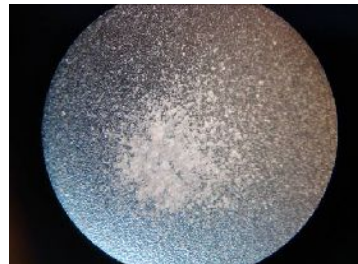
## イブプロフェン+パーフィラー101低打圧打錠試験

目的	EIP杵による滑沢剤を含有しない錠剤の製作を検討する。
使用薬剤	イブプロフェン-50%、パーフィラー101-50% パーフィラー101成分（ヒドロキシプロピルスターチ約60%、合成ケイ酸アルミニウム約20%、結晶セルロース約20%）
使用杵	EIP、MH3+CrN、鏡面+CrN、鏡面+HCr 以上4種類の上下の杵
錠剤硬度	20rpm:20N 30rpm:15N
打圧	本圧上ロール:230kgf 本圧下ロール:200kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して低打圧にて打錠する。 ②杵に付着が発生し、錠剤表面に剥離が発生した時点まで打錠する。 ③打錠後、杵打錠面を顕微鏡にて観察する。なお、今回は上杵には付着が少なく、下杵が顕著だったので下杵のみ写真を撮影した。 ④錠剤の崩壊時間を測定した。

### 試験結果(下杵)



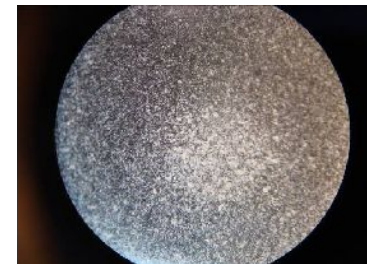
EIP(20rpm,40min+30rpm,40min)



MH3+CrN (20rpm,2min)



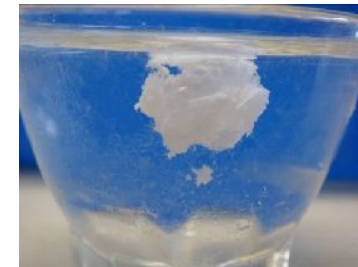
鏡面+CrN(20rpm,2min)



鏡面+HCr(10rpm,2min)

EIP:20rpmにて40分間打錠後、30回転にて40分間打錠を連続打錠し付着が発生しなかった。  
MH3+CrN:20rpmにて打錠し、2分程度で中心部に付着が発生した。  
鏡面+CrN:20rpmにて打錠し、2分程度で付着が発生した。  
鏡面+HCr:10rpmにて打錠し、2分程度で付着が発生した。

### EIP杵製造錠剤崩壊試験(6秒)



以上の結果から、EIP杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+パーフィラー101の粉体を低打圧で打錠できることが判明した。